

クイズラリー解説

クイズラリーとは

- 指定されたルートを走行し、途中のクイズに解答しながらゴールを目指します
- ラリーのようコマ図を頼りに走行しますが、スピードは競いません
- ノーマル車で家族や仲間とチームを組んで参加し、クイズを楽しんだり悩んだり
- 普段は味わえない車の遊びを1日満喫した後は、表彰式と賞品が待っています

SAQRの今年の特徴、見所

- 5年振りのワンデー開催
- 2ステージ制、1STはカーオリエンテーリング、2STはクイズラリー
- 1名での参加を可とします

カーオリエンテーリングとは

- 指定されたCPをすべて通過する最短距離を競います
- CP場所は事前に配布され、CPを回る順序やルートは参加者自身で考えます
- CPを通過した証明として、現地に行かなければ解けないクイズに解答します
- 公平を期すため、車両による距離計測誤差はオフィシャル側で計算し補正します

カーオリエンテーリング解説

最短距離を目指して、配置されたチェックポイント（CP）を回る順番やルートを頭を使って考えること、そして実際に走行し思わぬ通行規制（右左折禁止、踏切や橋の車幅制限、工事）やミスコースに対処し最善を尽くすこと、が求められるゲームです。スタートとゴールではオフィシャルがトリップメーター等を確認するために立ち会いますが、各CPにはオフィシャルはおりません。



～ルールについて～

- ・ CPの不通過（通過証明の解答ミスを含む）は減点されます
- ・ CP毎に指定された駐車場または駐車位置に車両を止め、通過証明をチェックしてください
- ・ スタート時にトリップメーターを0リセットし、以後（カーオリエンテーリングの）ゴールまでリセットや調整をしてはいけません



～オフィシャルから提供される情報について～

当日受付時に、以下の資料が配布されます。

- ・ CP場所を示した地図
- ・ CP通過証明（例：CPの駐車場内にある自販機の管理番号は？）



～その他～

通過証明とは別に、各CPではクイズに解答する必要があります。この後の「クイズラリー解説」にあるクイズ（I）が、カーオリエンテーリングのCPでも出題されているためです。忘れずに解きましょう。

クイズラリー解説

クイズラリー解説

コマ図に従って走行し、途中の指定されたクイズを解きます。クイズは車中から見て判るものから、車を降りて体力・知力をフル回転させるものまでさまざまです。また、ある地点ではオフィシャルが待機しており、そこでチェック（通過確認）を受けます。この地点をチェックポイント（CP）といい、必ず停止しなければなりません（※1）。

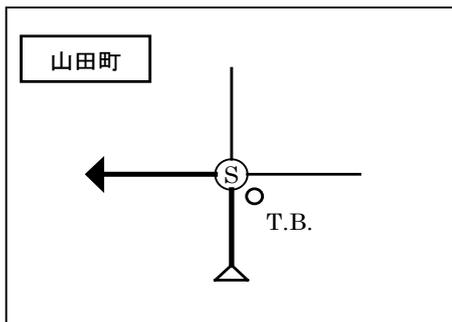
ナビゲーターの仕事は①コマ図地点を発見しドライバーに適確に指示する、②クイズ地点を発見し解答する、等ですが、同時に複数のクイズが出題されることもあり、気を抜けません。一方ドライバーの仕事は、ナビゲーターの指示に従い運転することです（※2）。



～コマ図走行について～

コマ図は普通の地図と違って曲がる地点しか記されていない上、必ずしもすべての目標物が表わされているとは限らないので、走行中常に気を付けていなければ見逃してしまいます。1度見逃すと延々とコースをはずれてしまいかねません。（※3、※10）

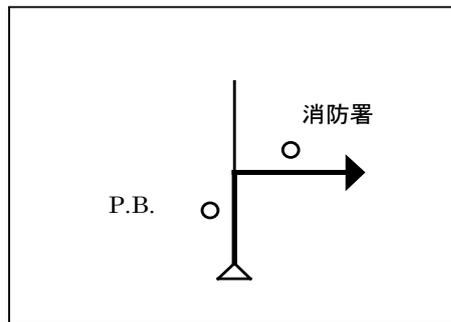
コマ図の例と読み上げ方の良い例、悪い例を挙げます。



良い例：信号付き十字路を左。交差点名山田町。

悪い例：電話ボックスのある交差点を左折。

（※4）



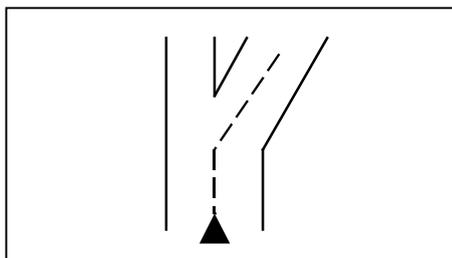
良い例：トの字を右。左手前に交番有り。

悪い例：三叉路を曲がると消防署有り。

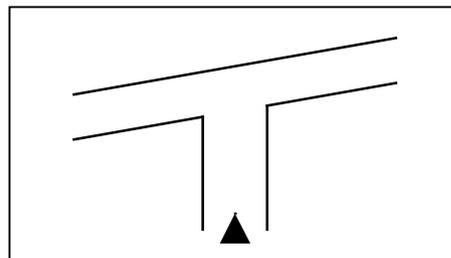
（※5）

逆にコマ図以外の交差点では道なり走行をします。道なり走行とは、①舗装路から舗装路へ（ダート路からダート路へ）、②同じ道幅の続く方へ、③センターラインの続く方へ、④角度の緩い方へ、⑤上りから上りへ（下りから下りへ）、⑥直進、つまりそれまで走ってきた道路状況が継続する方へ向かえばいいのです。

道なり走行の実例を挙げます。



道幅やセンターラインから判断して13時方向へ進むのが正しい。



T字路に近いが少し角度がついているので右折するのが正しい。



～CPについて～

クイズラリー解説

SAQRでは、CPは距離計測クイズの基準位置となっています。出現場所はコマ図上で指示されていますが、オフィシャルは待機していない無人CPですので見落とさないよう気を付けましょう。

CPによっては、オフィシャルが待機している場合があります。クイズ(Ⅱ)の出題や回収を行いますので、オフィシャルの指示に従いましょう。



～クイズ(Ⅰ)について～

クイズは大きく分けて2種類設定します。スタート前に渡すのがクイズ(Ⅰ)で、ゴールまでのコース上のあらゆる物が対象となっています。たいていは「15 図先の○○には・・・」のように出現場所が書かれているので、その地点が近づいたら気をつければ大丈夫です。しかし中には「3 図～8 図の間に・・・」「コース上どこかに・・・」といった形で出題される場合もあるので、スタート前に一通り目を通しておくべきでしょう(※6)。解答の際には電卓や巻尺が必要な場合もあります(※7)。なお、解答のために駐車する際には、他車及び地元住民の迷惑にならぬよう(※8)十分気をつけて下さい。

CP間距離に関するクイズもこのクイズ(Ⅰ)として出題されます。試走車とのメーター誤差を補正計算し正確に距離を解答させるクイズラリーもありますが、SAQRではCP間距離を比較解答する形式のため、補正計算は必要ありません(※11)。



～クイズ(Ⅱ)について～

スタート前ではなく、各CPで出題されるのがクイズ(Ⅱ)です。コースに関係ない出題もあります。これらはそのCPで制限時間内に答えたり、次のCPでの提出が指示されています(※9)。記憶力クイズは毎年恒例で、コースやクイズに関する記憶が問われます。連想クイズも恒例の出題です。用意された1つの正解を目指して、各CPで1つずつ示されるヒントをもとに、なるべく早いCPで正解するほど減点が小さいという形式です。

- ※1 オフィシャル待機のCPも無人CPも、コマ図上にて位置が明示されている。
- ※2 とはいいつつ、ナビとドラで互いに協力しないとクイズやコマ図を見逃す確率が高い。但しくれぐれも運転に支障の無い範囲で……。なお1人参加の方は、ドラ兼ナビとなるので慎重に運転してください。
- ※3 過去にコマ図見落としで下位に甘んじた人は数多い。コマ図もCPもクイズも出てこないまま10kmぐらい走ったとか、T字路だが該当するコマ図が無い等の状況になったら迷わず引き返そう。
- ※4 ドライバーが一番認識しやすい情報は信号なので、信号の有無を最初に伝える。電話ボックスより交差点名の方が識別性の高い情報であり、この場合交差点名を伝えれば、電話ボックスの情報は伝えなくても十分。情報を与え過ぎるとドライバーは覚え切れない。
- ※5 三叉路ではT字路なのかト字路なのか逆トなのか分からない。消防署は曲がってみないと見えない可能性があり、交番の方を伝えるべき。もちろん曲がってから実際に消防署があることを確認すること。
- ※6 スタート前に、クイズの場所をコマ図に書き写しておくとも良い。クイズ地点として公園など広い施設が指定されている場合は、車を降りて探し回ることもある。
- ※7 辞書や英和辞典等を持参するチームもある。出題者側も単に辞書を持っているだけで答えられるようなクイズは作らないが、何かの役に立つことがあるかも。

Scavenger And Quiz Rally 2024

クイズラリー解説

- ※8 カーブの途中や道幅の狭い場所に駐車しない、民家のそばではエンジンを停止する、等の基本マナーを守りましょう。状況によってはクイズ設置場所よりも離れて駐車する配慮が必要な場合も。万が一クレームが寄せられた場合、クイズのキャンセルや大会の中止になる恐れがある。
- ※9 過去の出題例では、記憶力を問うもの、バランス感覚を問うもの、一般常識を要するもの、計算力を試すもの、直感力を問うもの等、実に多彩。
- ※10 ミスコースに備えて、コマ図に通過距離を書き込んでおけば、直前のコマ図まで戻るだけで済む。
- ※11 補正計算や専用計測機器は不要だが、ミスコースしたり、買い物やクイズ解答等のためにコースをはずれる場合は、余計に走行した距離を差し引いた上で比較しないと、解答に影響する可能性がある。